

# 南の海へ行きます

萩原朔太郎

青空文庫



ながい疾患のいたみも消えさり、

浅間の山の雪も消え、

みんなお客さまたちは都におかへり、

酒はせんするにふきあげ、

ちらちら緋鯉もおよぎそめしが、

私はひとりぼつちとなり、

なにか知らねど泣きたくなり、

せんちめんたるの夕ぐれとなり、

しくしくとものおもへば、

仲よしの友だちうちつれきたり、

卵のごときもの、

菓子のごときもの、

林檎のごときものを捧げてまくらべにもたらせり、

ああ、けれども私はさびしく、

いまはひとりで旅に行く行く、  
ながい病氣の巢からはなれて、  
つばきの花咲く南の島へと行かねばならぬ、  
つばめのやうに快活に、  
とんでゆく、とんでゆく。

けふ利根川のほとりに来てみれば、  
しだいに春のめぐみを感じ、  
雪わり草のふくめるやうに、  
つちはうららにもえあがり、  
西も東も雪とけながれ、  
めんめんとして山峽はざまにながれ、  
光り光れる山頂いただきさへ、  
ひろがる桑の畑さへ、  
さびしい病人の涙をさそふよ、

しみじみとおもへば、

故郷ふるさとの冬空はれ、寂しくて寂しくてたへざれば、

いまはいつさいのものと別れをつけ、

あしたはれいの背廣を着、

いつもの軽い靴をはき、

まだ見も知らぬ南の海へあそぼうよ、

その心もちも快活に、

みなさんたちに別れをつけ、

きさらぎなかばのかしまだち、

小鳥びよびよと空に鳴きつれ。

——二月一日——



# 青空文庫情報

底本：「萩原朔太郎全集 第三卷」筑摩書房

1977（昭和52）年5月30日初版第1刷発行

1986（昭和62）年12月10日補訂版第1刷発行

入力：kompass

校正：小林繁雄

2011年6月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

# 南の海へ行きます

萩原朔太郎

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>